

# カラーインジケータチャート



濃い  
ピンク色

薄い  
ピンク色

ごく僅かな  
ピンク色

ピンク色  
消失

↑  
補綴物セット

ゲル化開始  
余剰セメント除去

完全硬化

## 臨床用途

◎最適 ○適 ×不適

臨床用途	CAD/CAM (セラミック、レジン)	○
	クラウン、ブリッジ、インレー、アンレー	◎
	ベニア	×
	インプラント (クラウン)	○
	ポスト	◎
	接着ブリッジ	○

材質	金属	◎
	ハイブリッド	◎
	ジルコニア	◎
	ニケイ酸リチウムガラスセラミックス	◎
	レジン	◎
	オールセラミックス	○



クラウン



ブリッジ



インプラント



インレー



アンレー



ポスト

Technique Summary Card

デジタルインジケータ  
デジタルインジケータ

Kerr

管理医療機器 歯科接着用レジンセメント  
医療機器認証番号: 228ADBZX00053000



Envista エンビスタジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー  
TEL:0800-1111-8600 FAX:03-6866-7273  
[www.envistaco.jp](http://www.envistaco.jp)

PM-6108\_Ver.4-頁01  
KR-0148



## 準備

- ・ 暫間補綴物を取り除きます。  
※仮着セメントは非ユージノール系のテンポンドNEをご使用ください。
- ・ 歯面に残った仮着セメントや仮封材をオプチクリーン又は適切なインスツルメントで取り除きます。水洗後、軽くエアード乾燥させます。
- ・ 補綴物を試適し適合を確認後、補綴物接着面をアルコーン等で清掃して下さい。
- ・ 補綴物の接着面にはサンドブラスト処理後、超音波洗浄を行います。



補綴物	サンドブラスト(アルミナ50μm)
金属:クラウン、ブリッジ、インレー、アンレー	4気圧、水洗、乾燥 金属プライマー不要
セラミック:クラウン、インレー、アンレー	2気圧、水洗、乾燥 セラミックプライマー不要
硬質レジン:クラウン、インレー、アンレー	1気圧、水洗、乾燥 セラミックプライマー不要



## マックスセム エリート クロマの塗布

- ・ 使用するマックスセム エリート クロマのシェードを選択します。
- ・ **ミキシングチップを装着する前に**少量のペーストを押し出し、ペーストとキャタリストが等量出る事を確認します(左上の写真参照)
- ・ ペーストを練和紙等で**すり切り**、ミキシングチップを装着します。ワイドミキシングチップは角度付きのチップを装着する場合に使用します。
- ・ 補綴物又は支台歯に直接セメントを注出します。ポストに用いる場合はポスト本体、あるいは根管内に直接セメントを注入します。



## 接着・圧接

- ・ 補綴物を静かに支台歯に装着、圧接します。
- ・ このときすべてのマージンからセメントが流れ出ることを確認します。
- ・ 化学重合で行う場合。  
口腔内約2分(室温17℃~23℃※)で**ピンク色が消えはじめたら**、インスツルメントで状態を確認し、ゲル化した余剰セメントを除去後、2分(トータル4分)で硬化します。



- ※室温により、ゲル化する時間が若干異なります。
- ・ 光重合で余剰セメント除去を行う場合。  
セットしてすぐに余剰セメントから光照射器先端を2~3cm離して1~2秒照射し、**ピンク色が薄くなり**ゲル化した余剰セメントを除去します(デミ ウルトラ使用の場合)。  
<注>光照射器の出力により時間が異なりますので、臨床にてのご使用前に短めの時間からお試ください。



## 光照射

- ・ 余剰セメントを除去した後、光照射器で各面を10秒間(デミ ウルトラ使用の場合)光照射し、マージン部を含め光重合します。  
その他の光照射器を使用する場合の照射時間についてはメーカーの指示に従って下さい。
- ・ 光が届かない補綴物の場合は余剰セメント除去後、2分(トータル4分)放置します。

## 仕上げ・研磨

- ・ ハイラスタープラス ポリッシャー等のCR用シリコンポイントを用いてセメントラインの研磨を行います。
- ・ 使用後はミキシングチップを装着したまま保管して下さい。